

傾城水滸

傳第八編

歌川國安画  
下帙卷之下

へ13  
3087  
26





へ13特  
3087  
26

曲亭馬琴著

# けいせいの まのまへ 笈の海

歌川國安畫

酔吟易顯拙策陽狂

酩酊亂語の三十一字を

智婦の一失駟馬も及ばぬ

扶桑樓上の壁ふ耳あり

江戸通油町書肆仙鶴堂刊行

主命難逃仙傳神行

童謡注釋の五言四句ハ

奸智の一得鬼神も如ざる

村學術中の舌ふ漆なり

七



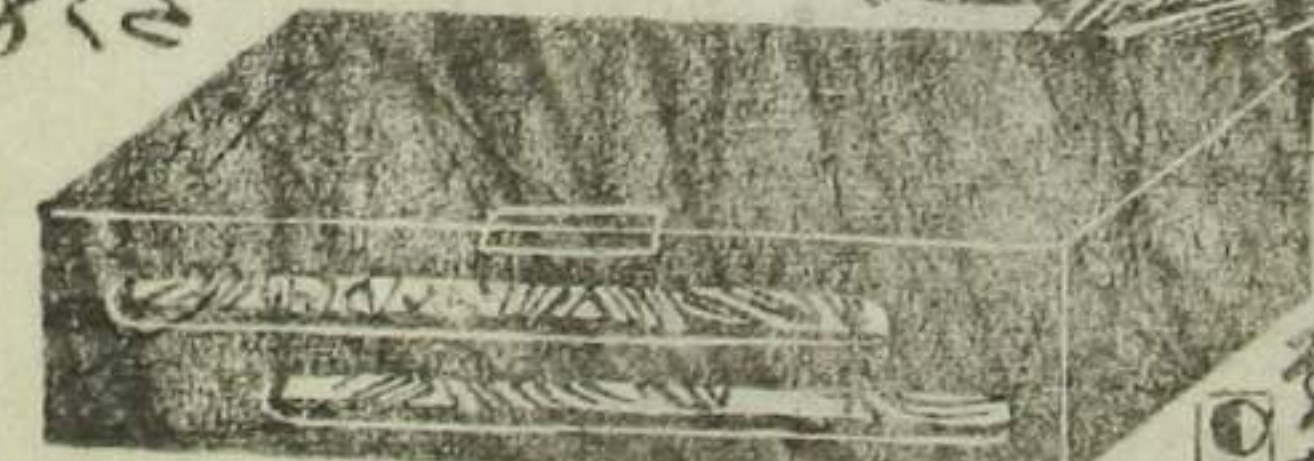
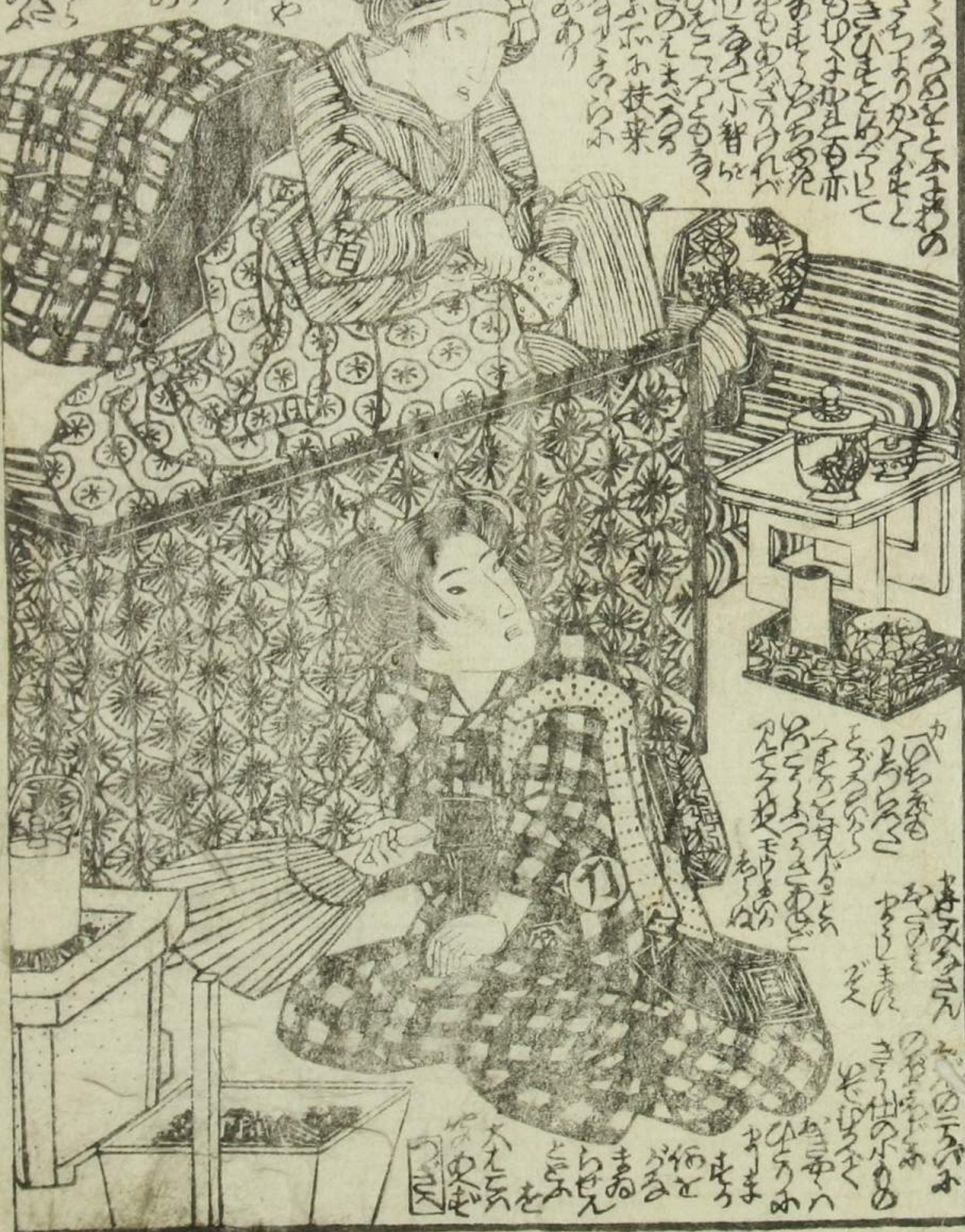


[illegible][illegible]



[illegible][illegible][illegible]



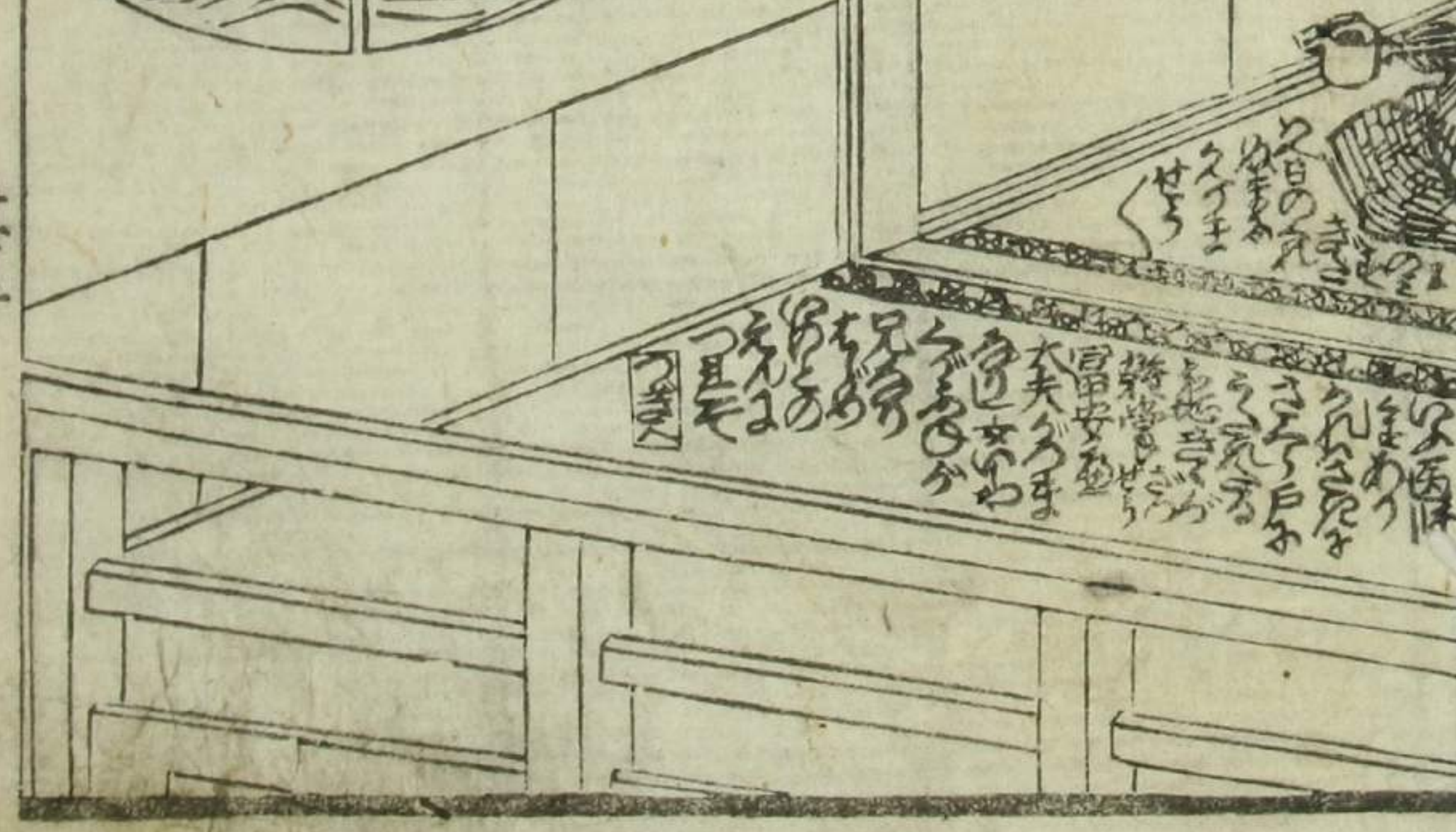
[illegible][illegible]



那堪在絲  
年若渴飲  
血深柱

[illegible]

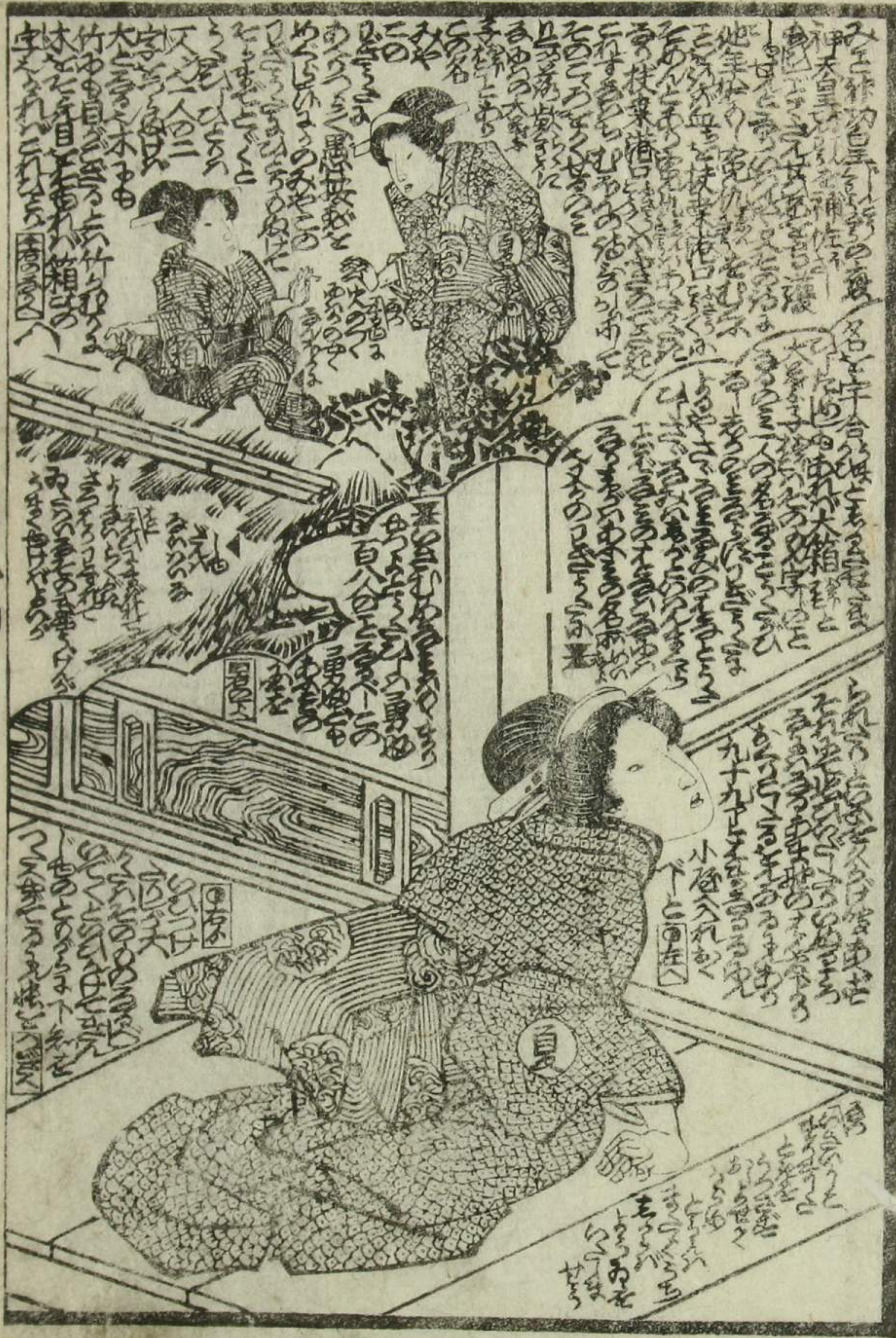
公西村  
 金わう  
 乳を屋  
 子て戸  
 う元方  
 ち地音  
 特増せ  
 富安  
 大夫  
 近江  
 之  
 分

[illegible]



[illegible][illegible]



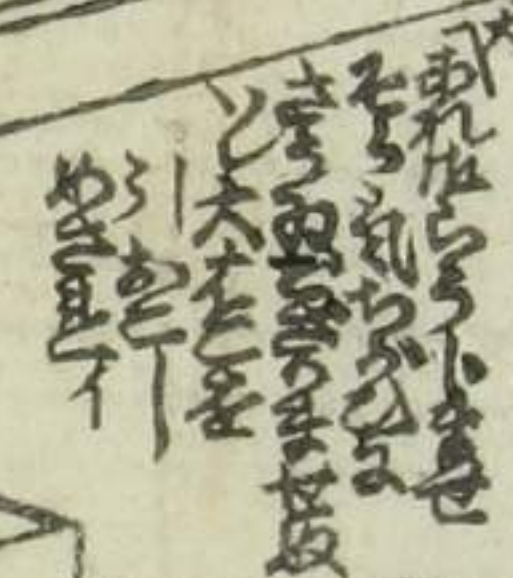








上之七言詩之八



子方子方子方子方

光



トイセヨシトヤ  
一 緋

サ

[illegible]



此書は、古今東西の名人の書画を、一冊に収めたものである。...

馬琴作

家傳神女湯... 精製奇應丸... 熊胆黒子... 御免江戸曆開板所... 載陽帖全一冊... 日本名所之繪... 女古状揃生竹... 還塊紙料... 田喜巻輯... 筆女同放言... 右三編三冊... 御免江戸曆開板所... 載陽帖全一冊... 日本名所之繪... 女古状揃生竹... 還塊紙料... 田喜巻輯... 筆女同放言... 右三編三冊...



國安画

御免江戸曆開板所 毎年十月下旬頃より発初...

載陽帖全一冊 南山禪師書 四李和文章 石摺

新日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋鋏形紹真筆

新女古状揃生竹 大木西品出来 高井蘭山編撰

還塊紙料 柳亭種彦隨筆 古画入二冊

田喜巻輯 此書は、江戸の名人の書画を、一冊に収めたものである。...

筆女同放言 初編二編共三巻 三編三巻

右三編三冊 此書は、江戸の名人の書画を、一冊に収めたものである。...



開闢以來の八千餘年史田藝文傳説をわきまに於て昔の古人を  
たゞの爲に因りて名の人々の所をたゞ承服するを信するの所を  
於て三百卷をたゞの爲に承服するの所を承服するを信するの所を

刻 於 合 二 百 卷 紙 本 爲 一 冊 不 足 而 已

遊言ちやん画え手本てほん一名鳥羽繪とばえ早はや多おほ人ひと業わざ

廣弘明記  
懷中早割大全小春  
一冊  
ありき新全集とすひ便利をむねにして書きたるなりしとの初集より不第くそのなまじりてよく上達するものなるをあらわす善本なり

[illegible]

役者芝居似顔似顔早稽古後編全三冊五渡亭園貞画画の乃どいふをとりむるものなり

文吉自笑計  
三箇之津  
藝品定  
役者評判記  
全  
櫻役者評判記の如き種々なものありて、此は、  
廿八、休閑かゝり、戊午年中、三つの滑稽言傳、明細、  
相撥、文藝、像、関、等、よく、む、改め、留、留、等、を、  
より、方、中、を、

當丑二月二日  
役者内一百番

即考百篇全冊  
蘇軾撰  
此林氏校勘書也。其書之在東坡先生手者。已見於世。

倭紫田舎源氏全冊  
柳亭種彦作  
歌川國貞画

喜恕哀樂式堪忍薄囊金蘭作

油屋茶荷 新形染松葉重 春の山 傳 本家肥前戸山末吉精製

鎌倉山百人一首全三冊作  
東海道五十三次花の巻路  
金無

立春  
大吉  
廊  
蕙  
名  
寄  
生  
梅  
川  
金  
冊  
江  
戸  
名  
所  
東  
鑑  
意  
齋  
筆  
同  
金  
三  
金  
三

天皇の方便を詔はなづかす  
唐土の偶言謀計はなづか  
日本外傳卷之四  
二國伏候殺生石玉冊  
作  
江戸名所物見丘清長筆  
右五冊共換上馬个々を寄るに  
通物に云々

美艶山女香 四八用 坂木氏製  
 黒油美香 四八用 坂木氏製  
  
 江崎物産 國産紙問屋  
 鶴屋喜右衛門



三石名物  
綿紋指  
團扇紙問屋  
通油所  
鹽屋喜右衛門



